

決算短信補足資料

(2022年3月期 第2四半期決算)

2021年11月2日

西日本旅客鉄道株式会社

1.決算ハイライト

(単位：億円)

	2021年3月期 2Q累計実績*	2022年3月期 2Q累計実績	対前年		2021年3月期 通期実績*	2022年3月期 通期予想 (11/2)**	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A			増減 D-C	比率(%) D/C
	A	B	B-A	B/A	C	D	D-C	D/C
【連結】								
営業収益	4,023	4,368	+344	108.6	9,200	10,520 ~10,890	+1,319 ~1,689	114.3 ~118.4
営業損失 (▲)	▲ 1,447	▲ 861	+586	-	▲ 2,455	▲ 1,290 ~▲940	+1,165 ~1,515	-
経常損失 (▲)	▲ 1,542	▲ 874	+668	-	▲ 2,573	▲ 1,415 ~▲1,065	+1,158 ~1,508	-
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損失 (▲)	▲ 1,280	▲ 686	+594	-	▲ 2,331	▲ 1,165 ~▲815	+1,166 ~1,516	-
【単体】								
営業収益	2,259	2,519	+259	111.5	5,068	5,890 ~6,220	+821 ~1,151	116.2 ~122.7
運輸収入	1,823	2,100	+276	115.2	4,190	4,990 ~5,320	+799 ~1,129	119.1 ~127.0
営業費用	3,549	3,328	▲ 220	93.8	7,406	7,230	▲ 176	97.6
人件費	923	902	▲ 21	97.6	1,838	1,790	▲ 48	97.3
物件費	1,624	1,479	▲ 144	91.1	3,544	3,535	▲ 9	99.7
動力費	207	190	▲ 16	91.9	395	395	▲ 0	99.8
修繕費	624	555	▲ 69	88.9	1,519	1,395	▲ 124	91.8
業務費	792	734	▲ 58	92.6	1,628	1,745	+116	107.1
減価償却費	679	622	▲ 56	91.6	1,410	1,290	▲ 120	91.5
営業損失 (▲)	▲ 1,289	▲ 809	+480	-	▲ 2,338	▲ 1,340 ~▲1,010	+998 ~1,328	-
経常損失 (▲)	▲ 1,393	▲ 869	+523	-	▲ 2,507	▲ 1,485 ~▲1,155	+1,022 ~1,352	-
四半期(当期)純損失 (▲)	▲ 997	▲ 638	+359	-	▲ 2,173	▲ 1,170 ~▲840	+1,003 ~1,333	-

*2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

**2021年7月30日発表の通期予想から変更していません

2. 単体損益計算書と業績予想

(単位：億円)

	2021年3月期 2Q累計実績*	2022年3月期 2Q累計実績	対前年		2021年3月期 通期実績*	2022年3月期 通期予想 (11/2)**	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A			増減 D-C	比率(%) D/C
	A	B			C	D		
営業収益	2,259	2,519	+259	111.5	5,068	5,890 ~6,220	+821 ~1,151	116.2 ~122.7
運輸収入	1,823	2,100	+276	115.2	4,190	4,990 ~5,320	+799 ~1,129	119.1 ~127.0
その他収入	435	419	▲ 16	96.2	878	900	+21	102.5
営業費用	3,549	3,328	▲ 220	93.8	7,406	7,230	▲ 176	97.6
人件費	923	902	▲ 21	97.6	1,838	1,790	▲ 48	97.3
物件費	1,624	1,479	▲ 144	91.1	3,544	3,535	▲ 9	99.7
動力費	207	190	▲ 16	91.9	395	395	▲ 0	99.8
修繕費	624	555	▲ 69	88.9	1,519	1,395	▲ 124	91.8
業務費	792	734	▲ 58	92.6	1,628	1,745	+116	107.1
線路使用料等	136	132	▲ 3	97.2	276	270	▲ 6	97.7
租税公課	185	191	+6	103.3	336	345	+8	102.4
減価償却費	679	622	▲ 56	91.6	1,410	1,290	▲ 120	91.5
営業損失 (▲)	▲ 1,289	▲ 809	+480	-	▲ 2,338	▲ 1,340 ~▲1,010	+998 ~1,328	-
営業外損益	▲ 103	▲ 60	+42	-	▲ 169	▲ 145	+24	-
営業外収益	23	55	+31	-	84	90	+5	-
営業外費用	127	116	▲ 10	-	253	235	▲ 18	-
経常損失 (▲)	▲ 1,393	▲ 869	+523	-	▲ 2,507	▲ 1,485 ~▲1,155	+1,022 ~1,352	-
特別損益	▲ 33	74	+108	-	▲ 239	235	+474	-
特別利益	50	118	+67	-	250	280	+29	-
特別損失	84	44	▲ 40	-	490	45	▲ 445	-
四半期(当期)純損失 (▲)	▲ 997	▲ 638	+359	-	▲ 2,173	▲ 1,170 ~▲840	+1,003 ~1,333	-

*2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

**2021年7月30日発表の通期予想から変更しておりません

3.運輸収入の主な増減要因

(単位：億円)

		2022年3月期 2Q累計実績			
		運輸収入	対前年	主な増減要因	
新幹線	829	+170 (125.9%)	基礎トレンド(100.0%)		
			特殊要因	・コロナ影響(国内)の反動増	+173
				等	
在来線	983	+84 (109.4%)	基礎トレンド(100.0%)		
			特殊要因	・コロナ影響(国内)の反動増	+83
				等	
在来線	287	+21 (108.0%)	基礎トレンド(100.0%)		
			特殊要因	・コロナ影響(国内)の反動増	+17
				等	
在来線計		1,270	+105 (109.1%)		
運輸収入計		2,100	+276 (115.2%)		

※荷物収入は金額些少のため省略

4. 運輸収入と旅客輸送量の実績と業績予想

運輸収入

(単位：億円)

輸送人キロ

(単位：百万人キロ)

	2Q累計実績 (4/1~9/30)			2Q実績 (7/1~9/30)			通期実績/予想			2Q累計実績 (4/1~9/30)			2Q実績 (7/1~9/30)			
	2021年 3月期*	2022年 3月期	対前年	2021年 3月期*	2022年 3月期	対前年	2021年 3月期 通期実績*	2022年 3月期 通期予想 (11/2)**	対前年	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年	
全社計	1,823	2,100	+276 115.2%	1,103	1,110	+7 100.7%	4,190	4,990 ~5,320	+799 ~1,129	119.1% 127.0%	15,849	17,265	+1,415 108.9%	9,033	8,867	▲165 98.2%
新幹線	659	829	+170 125.9%	433	459	+25 105.9%	1,655	2,145 ~2,375	+489 ~719	129.6% 143.5%	3,028	3,806	+777 125.7%	1,986	2,108	+122 106.2%
定期	51	53	+1 103.6%	25	26	+0 102.5%	101	-	-	-	399	417	+18 104.7%	201	206	+4 102.2%
定期外	607	776	+168 127.8%	407	432	+24 106.1%	1,553	-	-	-	2,629	3,388	+758 128.9%	1,784	1,902	+117 106.6%
在来線	1,164	1,270	+105 109.1%	669	651	▲18 97.3%	2,534	2,845 ~2,945	+310 ~410	112.2% 116.2%	12,820	13,458	+638 105.0%	7,046	6,758	▲288 95.9%
定期	584	602	+17 103.0%	304	297	▲6 97.8%	1,173	-	-	-	9,667	9,788	+120 101.2%	5,035	4,739	▲296 94.1%
定期外	579	668	+88 115.3%	364	353	▲11 96.9%	1,361	-	-	-	3,152	3,670	+517 116.4%	2,010	2,019	+8 100.4%
近畿圏	898	983	+84 109.4%	511	502	▲8 98.3%	1,941	2,175 ~2,240	+233 ~298	112.0% 115.4%	10,151	10,737	+586 105.8%	5,563	5,386	▲176 96.8%
定期	478	493	+14 103.1%	248	243	▲4 98.0%	962	-	-	-	7,820	7,980	+160 102.1%	4,082	3,872	▲209 94.9%
定期外	420	490	+69 116.6%	262	258	▲3 98.5%	979	-	-	-	2,331	2,757	+426 118.3%	1,481	1,514	+32 102.2%
その他	265	287	+21 108.0%	158	148	▲9 94.1%	593	670 ~705	+76 ~111	112.9% 118.8%	2,669	2,721	+51 101.9%	1,483	1,372	▲111 92.5%
定期	106	108	+2 102.3%	55	54	▲1 96.5%	211	-	-	-	1,847	1,808	▲39 97.8%	953	867	▲86 90.9%
定期外	159	178	+18 111.8%	102	94	▲7 92.7%	382	-	-	-	821	913	+91 111.1%	529	505	▲24 95.4%

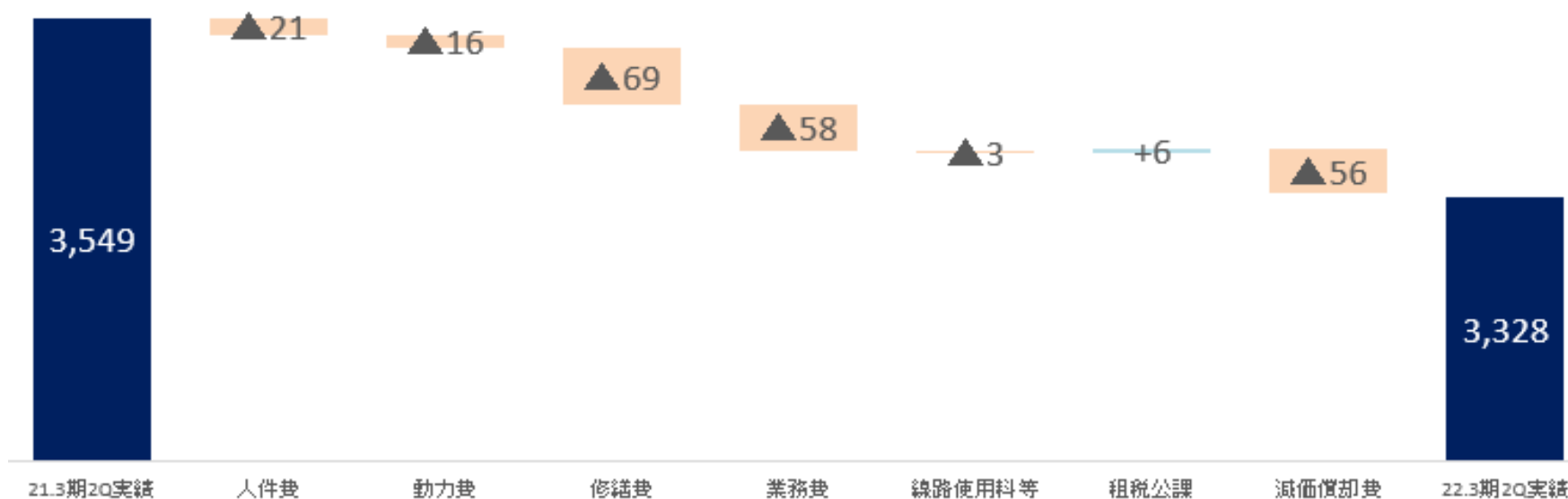
*2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

**2021年7月30日発表の通期予想から変更していません

5. 単体営業費用の主な増減要因

(単位：億円)

	2022年3月期 2Q累計実績			主な増減要因
		対前年		
人件費	902	▲ 21	97.6%	賞与の減、人員の減 等
動力費	190	▲ 16	91.9%	車両キロ差、燃料費調整額の減 等
修繕費	555	▲ 69	88.9%	工事進捗差、施策抑制による減 等
業務費	734	▲ 58	92.6%	会社間清算の減、広告宣伝費の減 等
線路使用料等	132	▲ 3	97.2%	東西線使用料の減 等
租税公課	191	+6	103.3%	法人事業税の増 等
減価償却費	622	▲ 56	91.6%	新幹線車両の償却方法見直し 等
営業費用計	3,328	▲ 220	93.8%	



6. 連結損益計算書と業績予想

(単位：億円)

	2021年3月期 2Q累計実績*	2022年3月期 2Q累計実績	対前年		2021年3月期 通期実績*	2022年3月期 通期予想 (11/2)**	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A			増減 D-C	比率(%) D/C
	A	B			C	D		
営業収益	4,023	4,368	+344	108.6	9,200	10,520 ~10,890	+1,319 ~1,689	114.3 ~118.4
営業費用	5,470	5,229	▲ 241	95.6	11,655	11,810 ~11,830	+154 ~174	101.3 ~101.5
営業損失 (▲)	▲ 1,447	▲ 861	+586	-	▲ 2,455	▲ 1,290 ~▲940	+1,165 ~1,515	-
営業外損益	▲ 95	▲ 13	+82	-	▲ 118	▲ 125	▲ 6	-
営業外収益	35	116	+81	-	130	132	+1	-
営業外費用	130	130	▲ 0	-	248	257	+8	-
経常損失 (▲)	▲ 1,542	▲ 874	+668	-	▲ 2,573	▲ 1,415 ~▲1,065	+1,158 ~1,508	-
特別損益	▲ 90	75	+165	-	▲ 173	240	+413	-
特別利益	75	145	+69	-	319	-	-	-
特別損失	166	70	▲ 96	-	493	-	-	-
親会社株主に帰属する 四半期 (当期) 純損失 (▲)	▲ 1,280	▲ 686	+594	-	▲ 2,331	▲ 1,165 ~▲815	+1,166 ~1,516	-
四半期包括利益	▲ 1,332	▲ 679	+653	-	▲ 2,404	-	-	-

*2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

**2021年7月30日発表の通期予想から変更していません

7.セグメント情報と業績予想

(単位：億円)

	2021年3月期 2Q累計実績 ^{*3}	2022年3月期 2Q累計実績	対前年		2021年3月期 通期実績 ^{*3}	2022年3月期 通期予想 (11/2) ^{*4}	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A			増減 D-C	比率(%) D/C
	A	B			C	D		
営業収益 ^{*1}	4,023	4,368	+344	108.6	9,200	10,520 ~10,890	+1,319 ~1,689	114.3 ~118.4
運輸業	2,079	2,356	+277	113.3	4,697	5,580 ~5,920	+882 ~1,222	118.8 ~126.0
流通業	473	555	+82	117.4	1,087	1,480 ~1,490	+392 ~402	136.1 ~137.0
物販・飲食	388	462	+74	119.2	882	1,212 ~1,222	+329 ~339	137.3 ~138.4
【宿泊特化型ホテル】(再掲) ^{*2}	[15]	[27]	[+11]	[175.3]	[45]	[75] ~[85]	[+29] ~[+39]	[163.1] ~[184.8]
百貨店	66	73	+7	111.6	163	224	+60	137.1
不動産業	638	662	+23	103.7	1,413	1,530	+116	108.2
ジョイントベンチャー	184	206	+21	111.7	423	474	+50	112.0
不動産賃貸・販売	441	446	+5	101.2	969	1,035	+65	106.8
【不動産販売】(再掲)	[205]	[208]	[+3]	[101.6]	[501]	[563]	[+62]	[112.4]
その他	832	794	▲ 38	95.4	2,002	1,930 ~1,950	▲ 72 ~▲52	96.4 ~97.4
ホテル	55	72	+17	131.5	153	210 ~230	+56 ~76	137.2 ~150.2
旅行	385	347	▲ 38	90.1	876	702	▲ 174	80.1
営業利益又は損失 (▲) ^{*1}	▲ 1,447	▲ 861	+586	-	▲ 2,455	▲ 1,290 ~▲940	+1,165 ~1,515	-
運輸業	▲ 1,383	▲ 899	+483	-	▲ 2,515	▲ 1,505 ~▲1,170	+1,010 ~1,345	-
流通業	▲ 99	▲ 69	+29	-	▲ 150	▲ 35 ~▲30	+115 ~120	-
物販・飲食	▲ 83	▲ 53	+30	-	▲ 127	▲ 37 ~▲31	+90 ~96	-
百貨店	▲ 15	▲ 15	▲ 0	-	▲ 22	0	+22	-
不動産業	150	161	+10	107.0	292	280	▲ 12	95.7
ジョイントベンチャー	1	17	+16	1,698.4	20	39	+18	186.2
不動産賃貸・販売	106	102	▲ 3	96.4	189	160	▲ 29	84.5
その他	▲ 112	▲ 61	+50	-	▲ 57	0 ~10	+57 ~67	-
ホテル	▲ 66	▲ 58	+8	-	▲ 116	▲ 71 ~▲61	+45 ~55	-
旅行	▲ 49	1	+51	-	▲ 73	▲ 25	+48	-

^{*1} 各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

^{*2} 宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」の合計値です。ただし、浅草店（その他業）、広島銀山町店（その他業）は除きます。

^{*3} 2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

^{*4} 2021年7月30日発表の通期予想から変更してありません

8.各セグメントの主な増減要因

(単位：億円)

			2022年3月期 2Q累計実績			主な増減要因
			対前年		増減	
			増減	比率(%)		
流通業	物販・飲食	営業収益	462	+74	119.2	・緩やかな需要回復による構内店舗、宿泊特化型ホテルの売上増 等
		営業損失	▲ 53	+30	-	
	百貨店	営業収益	73	+7	111.6	・営業制限緩和による売上増 等
		営業損失	▲ 15	▲ 0	-	・前期休館に伴う特損振替の反動 等
不動産業	ショッピングセンター	営業収益	206	+21	111.7	・営業制限緩和による賃料収入の増 等
		営業利益	17	+16	1,698.4	
	不動産賃貸・販売	営業収益	446	+5	101.2	・販売業の増、賃貸物件の平年度化 等
		営業利益	102	▲ 3	96.4	・分譲利益率の減 等
その他	ホテル	営業収益	72	+17	131.5	・緩やかな需要回復による宿泊部門の売上増 等
		営業損失	▲ 58	+8	-	
	旅行	営業収益	347	▲ 38	90.1	・行動制限に伴う旅行需要の減 等
		営業利益	1	+51	-	・非旅行事業の拡大 等

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

9.連結財政状況およびキャッシュフロー計算書

(単位：億円)

	2021年3月期 期末* A	2022年3月期 2Q期末 B	増減 B-A
資産	34,773	37,510	+2,736
負債	25,211	26,203	+992
純資産	9,562	11,307	+1,744
長期債務残高	15,595	17,577	+1,982
【長期債務平均金利 (%)】	【1.28】	【1.17】	【▲0.11】
新幹線債務	1,009	1,004	▲5
【新幹線債務平均金利 (%)】	【6.55】	【6.55】	【-】
社債	8,399	9,899	+1,500
【社債平均金利 (%)】	【1.11】	【1.00】	【▲0.11】
自己資本比率 (%)	24.5	27.4	+2.9
1株当たり純資産 (円)	4,461.46	4,212.17	▲249.29

*2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

	2021年3月期 2Q累計実績 A	2022年3月期 2Q累計実績 B	対前年増減 B-A
営業活動によるキャッシュフロー	▲ 1,412	▲ 957	+454
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 990	▲ 730	+260
フリーキャッシュフロー	▲ 2,402	▲ 1,687	+715
財務活動によるキャッシュフロー	4,703	4,336	▲366
現金及び現金同等物の増減	2,300	2,649	+348
現金及び現金同等物の期末残高	3,083	4,749	+1,666

10.諸元表

(単位：人、億円)

	2021年3月期 2 Q累計実績 ^{*2}	2022年3月期 2 Q累計実績	2021年3月期 通期実績 ^{*2}	2022年3月期 通期予想(11/2) ^{*3}
連結ROA (%)	—	—	—	—
連結ROE (%)	—	—	—	—
連結EBITDA ^{*1}	▲ 606	▲ 73	▲ 708	350~700
連結減価償却費	835	781	1,734	1,635
連結設備投資 (自己資金)	835	734	2,166	2,450
単体設備投資 (自己資金)	566	455	1,674	1,700
安全関連投資	320	265	1,051	850
1株当たり配当金 (円)	50.0	50.0	100.0	100.0

	2021年3月期 2 Q累計実績		2022年3月期 2 Q累計実績		2021年3月期 通期実績		2022年3月期 通期予想(11/2)	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数 (就業人員)	48,625	24,075	47,611	22,958	47,984	23,900	—	—
金融収支	▲ 95	▲ 82	▲ 87	▲ 88	▲ 195	▲ 178	▲ 211	▲ 190
受取利息・配当金	4	16	19	18	9	24	7	22
支払利息	99	99	106	106	204	202	218	213

^{*1} EBITDA = 営業利益又は損失 + 減価償却費 + のれん償却額

^{*2} 2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

^{*3} 2021年7月30日発表の通期予想から変更しておりません

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとしうる重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
 - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
 - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
 - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
 - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
 - 感染症の発生・流行
 - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2021年11月2日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2021年11月2日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <https://www.westjr.co.jp/company/ir/>